

貸借対照表の要旨

2023年8月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
【流動資産】	281,577	【流動負債】	114,562
【固定資産】	28,406	賞 与 引 当 金	3,177
		そ の 他	111,384
		負 債 合 計	114,562
		純 資 産 の 部	
		【株主資本】	195,421
		資 本 金	50,000
		利 益 剰 余 金	145,421
		利 益 準 備 金	2,500
		そ の 他 利 益 剰 余 金	142,921
		繰 越 利 益 剰 余 金	142,921
		(内、当期純利益)	25,226
		純 資 産 合 計	195,421
資 産 合 計	309,983	負 債 ・ 純 資 産 合 計	309,983

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品、原材料、仕掛品	最終仕入原価法
貯蔵品	最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち、当事業年度の負担すべき額を計上しています。

4. 収益及び費用の計上基準

完成工事の計上については、当連結会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事（工期がごく短期間のものを除く）については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。なお、工事進行基準を適用する工事の当連結会計年度末における進捗度の見積りは原価比例法によっております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式	100,000株
------	----------